

佐倉市民オンブズマン情報 第90号

2021年4月20日 発行：佐倉市民オンブズマン TEL&FAX043-485-5999 携帯 090-9144-0676

目次

1頁 佐倉市の新年度予算
予算審査追加資料

2頁 定例議会概要
ワクチン接種率70%を想定
要介護・障がい者は
市民の約10%
政治活動用看板
4割が要修正

佐倉市の新年度一般会計予算 474億円 (市民一人当たり27万円)

担当部署	佐倉市各部署の課題
企画政策部	新知事と連携する。佐倉市の地下水を確保し原水を安く安全なものにする。ホームページの更新。オリ・パラへの取り組み。
財政部	入札における落札業者のくじ引き決定等無くし、入札差金を確保する。最小の経費で最大の効果を上げる。市税減少への対応。
議会事務局	議会改革の推進。委員会のインターネット配信等情報公開を進める。情報公開への不断の取り組み。行政のデジタル化への取り組み。
総務部	職員通勤手当が国基準に比較し、年間950万円高いのを是正する。職員給与につき他市との比較を十分に説明する。特別職期末手当の役職加算根拠を明確にする。
資産経営部	政策決定過程、新佐倉図書館の建設等を含め積極的に情報公開をする。公共施設包括管理の円滑な実施。
選挙管理委員会	看板等の適正設置を含め、違法な政治活動、選挙活動を無くす。
市民部	保健事業と介護予防の一体的実施による健康寿命の延伸。
危機管理部	地震等災害への備え、避難所充実への取り組み。
(教育委員会) 教育部	学校授業等での情報機器の活用。学校トイレ洋式化(5年間要)を早める。教員の残業削減。子どもの自己肯定感の育成。国際感覚の育成(英語教育等体制強化)。
福祉部	高齢者、障がい者福祉の推進。グループホーム等福祉施設の充実。生活困窮者支援。
子ども支援部	保育園、学童保育の実質待機児童を無くし環境改善に取り組む。子育て支援全体。病児病後児保育の拡大。
健康増進部	ワクチン等コロナ対策。PCR検査を含めた健康危機対策事業の推進。
産業振興部	コロナに対する企業支援。観光拠点整備。農業支援。
環境部	気候変動対策。不法廃棄物対策。公衆トイレ洋式化推進。
土木部	道路規制表示の適正化も促し、安全な道路とする。街路樹の小型樹木へ植え替え。樹木の点検調査。明神橋復旧。
都市部	京成佐倉駅北口へのエレベータ設置。大規模盛土への対策。
上下水道部	入札における、落札業者のくじ引き決定等無くし適正な競争確保。水道原水費上昇による値上げ幅の適正化。

◆予算説明資料

この予算に対し、各事業の説明資料(査定状況)は市のホームページ(組織から↓財政部↓財政課↓当初予算編成について↓当初予算査定状況↓一般会計(臨時経費)事業別概要書等)にあります。

その中では、事業概要の説明が直接記入されず残念ですが、事業名をクリックし事業別概要書から見ることが出来ます。

◆議員請求追加資料

予算や市政の実態をよく把握するために、会派から資料の追加請求が執行部に行われます。今回は合計192件となり、資料は一部除き執行部から提出された。追加資料請求内容は、

①指定管理者への市民要望
②コロナ対応地方創生臨時交付金事業及び財源
③共済組合への支出内訳
④発行市債の金利(金額上位5件)

◆新規事業

新年度新規事業として、

⑤退職金負担金額内訳
⑥国と市の給与差一覧
⑦高齢者福祉施設待機者数
⑧市内グループホーム状況
⑨各保育園の入所状況
⑩各入札落札状況
⑪プロポーザル方式随意契約一覧
⑫市奨学金補助状況
⑬給食材佐倉市自給率

など網羅的に請求されます。

◆事業執行の課題

予算審査等により見えた課題の一部を表に記載します。(上表参照)

市税減収などにより、先送りになった事業もありませんので注意が必要です。

新年度予算(前年度比市税収入 14億円減)

新型コロナウイルスの感染が一年以上経過し、ワクチン接種が始められようとしている中、佐倉市の新年度予算が審議され可決されました。一般会計当初予算は、474億2400万円(市民一人当たり約27万円)となり、昨年度当初予算より、土木費、教育施設費等の減により約40億円の減額となりました。市税収入は前年度比約14億円減の見込です。

◆予算委員会質疑

委員会では、各委員から執行部に対して質問がなされ、答弁が行われ、予算の妥当性などが議論され、要望も出されます。

◆追加資料の除外

追加資料の除外

①携帯電話無線基地局
②同基地局の設置申請件数
③市内小中学校、学級費の金額と内容等

予算審査追加資料	
会派名	請求件数
市民ネット	65
共産党	77
市民オンブズマンひまわり会	50
さくら会	0
公明党	0
自由民主さくら	0
(会派に所属せず)	請求できず
合計	192

追加資料請求

今回は市民ネットワー(65件)、日本共産党(77件)、市民オンブズマンひまわり会(50件)の合計192件が請求された。さくら会、公明党、自由民主さくらからは0件。(左表参照)

追加資料の役割

これまでの追加資料請求によりその後、請求なくとも執行部が準備するようになった資料も多い。例えば、各部局の概要、地方交付税計算書、地方譲与税計算書、交付金計算書、補助金一覧等であり、執行部の理解もあり資料は少しずつ充実している。

佐倉市の予算は、17万人以上の市民全てに関係するものです。その主財源は、市民の納める税金が充てられます。無駄のない有効な活用が望まれます。皆様からのご意見、ご要望をお待ちしています。



追加資料の除外

ところが、特に理由の説明もなく委員長の発言により6件が除外された。それは、

①携帯電話無線基地局
②同基地局の設置申請件数
③市内小中学校、学級費の金額と内容等

請求者は説明資料を請求し、市政の各分野について現状を把握し、予算審査に活用している。予算の質疑において、予算の内容を単に聞くのではなく、対案を出したり要望するの極めて重要である。

追加資料の除外

追加資料の除外

①携帯電話無線基地局
②同基地局の設置申請件数
③市内小中学校、学級費の金額と内容等

追加資料の除外

追加資料の除外

①携帯電話無線基地局
②同基地局の設置申請件数
③市内小中学校、学級費の金額と内容等

追加資料の除外

追加資料の除外

①携帯電話無線基地局
②同基地局の設置申請件数
③市内小中学校、学級費の金額と内容等

市議会 議案賛否表 賛成○ 賛成少数△ 反対× 主な議案	全体	市民オンブズマン ひまわり会	さくら会（議長会）	自由民主党	市民ネット	共産党	新社会党	高橋とみお議員	玉城清剛議員
議員数（合計28名）	28	2	10	4	4	3	2	1	1
① 2021年度一般会計予算	○	○	○	○	○	×	×	○	○
② 職員の分限に関する条例改正	○	○	○	○	○	×	×	○	○
③ 契約締結（図書館障害物撤去）	○	○	○	○	○	×	×	○	○
④ 学校等でのPCR検査体制構築	△	○	×	×	○	○	○	○	○
⑤ 生活保護制度の見直しを求める	△	○	×	×	○	○	○	×	○

議案種類	提出者	件数	内容（青字は否決された議案）	可決数
新年度予算	市長	9	一般会計、国民健康保険、公共用地取得事業、農業集落排水、介護保険、災害共済、後期高齢者医療、水道事業、下水道事業	9
R2年度補正予算	市長	8	一般会計（2+専決1）、国民健康保険、公共用地取得事業、介護保険、災害共済、後期高齢者医療	8
新年度補正予算	市長	5	一般会計、農業集落排水、介護保険、水道事業、下水道事業	5
条例制定	市長	2	特別職給与特例、市史編さん委員会	2
条例改正等	市長	12	職員定数、職員の分限、特別職非常勤報酬、一般職職員給与及び会計年度職員報酬等、手数料、介護保険、指定地域密着型サービス基準、指定居宅介護支援事業基準、指定地域密着型介護予防サービス基準、指定介護予防支援等の事業基準、草ぶえの丘設置管理、飯野台観光振興施設管理改正条例を廃止	12
契約	市長	1	佐倉図書館障害物の撤去	1
審査請求	市長	1	保育園費の利用者負担	1
人事	市長	3	固定資産評価委員、人権擁護委員（2）	3
請願	市民	4	75歳以上医療費負担1割継続、安全・安心の医療・介護の実現、新佐倉図書館建設中止、携帯電話基地局設置条例	0
陳情	市民	1	コロナ禍での年金引き下げを行わない	0
条例改正	委員会	1	委員会条例（組織改正のため）	1
規則改正	委員会	1	会議規則（欠席理由の明確化、押印の省略）	1
条例制定	議員	1	政務活動費交付の特例条例（10万円減額）	1
決議	議員	1	コロナ感染症対策の拡充決議	1
意見書	議員	5	消費税5%への減税、学校等でのPCR検査体制構築、高齢者施設での行政検査を求める、コロナワクチン接種に関する意見、生活保護制度の見直し	0

佐倉市議会定例議会概要（2月22日～3月22日）
 新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言中に行われたため、今議会も一般質問は代表質問他（各30分）に絞って行われた。本会議での質疑や討論は時間制限（5分）を設けて行われた。

① 2021年度 一般会計予算
 新年度予算は、コロナ禍の中で収入が14億円減少が予想されている。それゆえ、厳しい予算編成がおこなわれ、一部には予算査定において先送りとなったものもある。課題を指摘し、予算には賛成した。

② 職員の分限に関する 条例の改正
 市職員が健康上の理由で休む場合に、3か月以上になると休職と異なる。その休職の最長期間は3年である。休職期間については、復職がされればリセットされる。しかし、再度休職を取れば、前回の期間が加算される。これまでは、6か月働けばリセットされていたが、1年働かないとリセットされない制度になる。このため反対した。

③ 契約締結（新佐倉図書館障害物撤去）
 現在建設中の新佐倉図書館において、土木工事中に障害物が発見された。無線設備の基礎であり、当初の工事には含まれなかった。市は、注意していればそれを把握できたが、当初工事にそれを含まれず、この部分は落札率100%（定価の85万9千円）にて追加契約。

学校での感染を防ぐというものであるが賛成少数であった。現在のコロナ感染は、変異株の登場もあり、若者の感染者も多くまん延を抑えるのが難しい。学校でのPCR検査を行い学校でのコロナ感染を防ぐ必要がある。

⑤ 生活保護制度の見直しを求める意見書
 生活保護を受給しない人が多い理由は、扶養義務親族への問合せにもある。日本は扶養義務範囲が3親等までと広い。先進国では、配偶者間、親子間など範囲が狭い。

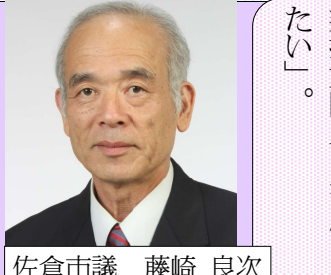


④ 学校でのPCR検査体制構築の意見書
 コロナ禍において、

ワクチン接種率を70%と想定

コロナワクチン接種に質問。その答弁は「ワクチン接種は各医院等（個別接種）と市民体育館、イオンユカリが丘他（集団接種）で行ない、費用は国負担となる。ワクチンの接種率は70%と想定。65歳以上の人口は5万9千人。接種を希望しない方へも接種を勧める。

2月～3月議会の質問ほか
 市独自のPCR検査については、集団生活を送る子供たちや高齢者施設での感染拡大防止に活用したい。



佐倉市議 藤崎 良次

無症状の感染者も多く又ワクチンを希望しない方もいるので、感染を十分抑えることは難しい面がある。そのためコロナゼロへの取り組み（全員にPCR）の検討が必要と言っている。

編集後記
 新型コロナウイルス対策により、議会も行政も厳しい状態です。コロナは変異株も発生し第4波といわれています。コロナとの共生は難しく、ゼロコロナを目指すべきとも言われています。

介護認定・障害者の当事者は市民の約10%

市内の介護認定者（約8000人）と障がい者手帳所持者（約7800人）の合計は、1万5千人以上であり、人口の約10%に近い。誰もが当事者や関係者になる可能性があるとの理解が必要。障がい者福祉や介護保険は、制度や申請書類が複雑なので質問、次の答弁があった。

「この施設は、障害の重度化や高齢化により、他の日中活動サービス等を利用できない障害者のため、常時の支援提供体制を確保した施設です。短期入所を併設し、障害者の緊急一時的な利用に対応でき、第6期の障害者計画において、この計画等を盛り込んでいきます。」

「記入例の様式には、適宜必要な更新が図れるよう注意します。」
 ・市民音楽ホール及び市立美術館では、窓口障がい者割引制度の

「現地調査を行った政治活動看板は341か所、補正をお願いしたものは138か所、その比率は39%であった」
 4割もの市長、市議関係看板に違反がある状態であった。



日中サービス支援型グループホーム
 まだ計画は無いが、この施設について質問、次の答弁があった。